011026_全身麻酔･左人工膝関節置換術

ステップ名称	ステップ１		ステップ２	ステップ３		ステップ４	ステップ５	ステップ６		
	1日前	基準日			1日後	2日後～3日後	4日後～6日後	7日後～9日後	10日後～14日後	15日後
		術前	術中	術後						
到達目標	手術に対する心身の準備ができる			創痛がコントロールできる		介助で車いすに移乗ができる	自力で身体の移動が安全に行なえる	膝が90度程度屈曲できる		
								サークルもしくは杖歩行が安全にできる		
処置	浣腸をします		手術室で点滴などのチューブが入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます	心電図モニターをはずします	2日後におしっこの管を抜きます	膝の屈伸運動を機械を装着して行います 9時ごろ 30分 16時ごろ 30分	8日後に傷の消毒をします	13日後に抜糸をします	急性期病棟から退院・転院または転棟します
	手術する側のしるしをつけます			空気圧マッサージ機をつけます	創部の管を抜きます	2日後マッサージ機は動けるようになれば外します	6日後に傷の消毒をします		14日後に傷にはってある防水フィルムをはがします	
	手術する側のしるしを確認します			創部に管が入っています	傷の消毒をします	3日後膝の屈伸運動を機械を装着して行います 9時ごろ 30分 16時ごろ 30分				
検査			膝のレントゲンがあります	血液検査があります	血液検査があります			血液検査があります	14日後に血液検査があります	
								膝のレントゲンがあります	14日後に膝のレントゲンがあります	
体温・呼吸・循環	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	6時　10時　14時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時　14時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります
注射				持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行ないます	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行ないます					
投薬	持参薬があればお知らせください	午前6時　指示のお薬があれば飲みます			朝から鎮痛剤と胃薬を服用します	2日後から血栓予防の薬を開始します				
清潔・排泄	シャワー浴をおこないます	手術30分前に排尿を済ませてください			身体を拭きます	2日後創部に防水フィルムを貼付したらシャワー浴ができます				退院後、入浴できます
		排便の確認をします								
		朝は歯磨きをします								
食事	夕食後から絶食です お茶・水は飲めます	朝から絶飲絶食です 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水ができます	朝から食事が始まります					退院後、制限はありません
活動・安静度	制限はありません			ベッド上で安静にします（患肢を枕で上げます）	創部の管を抜いた後、介助で車いすに乗れます		5日後リハビリ室へ車いすで行きます	8日後理学療法士の許可で病棟内をサークル歩行できます	13日後にリハビリ室で階段昇降練習をします	退院後、重労働やスポーツは医師の許可があるまでできません
					病棟でリハビリを開始します			8日後リハビリ室で杖歩行練習をします		
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります		家族の方は待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります	理学療法士や作業療法士からリハビリについて説明があります	2日後にリハビリがあります	5日後と6日後にリハビリがあります	リハビリがあります	13日後に理学療法士からリハビリ計画について説明があります	次回外来受診日を確認します
	看護師から手術について説明があります			痛みが強い時はお知らせください	自主リハビリを開始します				12日後～14日後にリハビリがあります	リハビリがあります
	理学療法士から術後のリハビリについて説明があります				リハビリがあります					
	薬剤師から薬について説明があります									
	特別な栄養管理の必要性（有）									
書類	手術同意書・麻酔同意書・輸血同意書を看護師詰所に提出してください									退院療養計画書、請求書を渡します
手術										